

第 18 回 西東京糖尿病心理と医療研究会 開催のご案内

若手糖尿病診療医のためのインスリン マスターセミナー

謹啓

春陽の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記概要にて第 18 回西東京糖尿病心理と医療研究会を開催させて頂く運びとなりました。今回は、若手糖尿病診療医の先生方を対象にインスリン マスターセミナーを企画いたしました。**尚、下記の会場に変更となりましたのでお間違えないようお願い申し上げます。**皆様の御参加をお待ちいたしております。

謹白

記

日 時：2015 年 6 月 20 日(土) 15:00～18:00

会 場：新宿 NSビル 3F「3-D 会議室」 **会場が変更になりました**

新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03-3342-4920

参加費：1,000 円 ※研修医の先生は無料

-----プログラム-----

開会の辞(15:00～15:05)

東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科 科長 大野 敦先生

講演 & ワークショップ(15:05～17:55)

座長 朝比奈クリニック 院長 朝比奈 崇介先生

講演 1 (15:05～15:35)

「 DTR-QOL を用いた糖尿病患者の健康感 」

高村内科クリニック 植木 彬夫先生

講演 2 (15:35～16:35)

「 多種多様なインスリン療法 」

医療法人社団ユスタヴィア クリニックみらい国立 院長 宮川 高一先生

ワークショップ(16:55～17:55)

「 模擬面接を通して学ぶ～インスリン導入の実際～ 」

朝比奈クリニック 院長 朝比奈 崇介先生

国立がん研究センター中央病院 総合内科・歯科・がん救急科 科長 大橋 健先生

閉会の辞(17:55～18:00)

公立昭和病院 内分泌・代謝内科 部長 貴田岡 正史先生

共 催

西東京糖尿病心理と医療研究会、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

※ 当日は軽食をご用意しております

「 若手糖尿病診療医のためのインスリン マスターセミナー 」

【今回の研究会の趣旨】

皆さんは、血糖が高くなって、食事・運動療法に加えて経口糖尿病薬の効果も不十分でそろそろインスリンを始めたいと思った患者さんを診ている時、何を念頭に置いて患者さんにインスリンを勧めていますか？

インスリンの使い方のコツは多種類のインスリンの特性、特に作用時間に係わる薬物動態の正確な知識を持ち、患者さんのライフスタイルに合わせた打ち方を工夫することと、SMBG の合間に隠れた高血糖、低血糖をいつも気にしておく必要があります。

また、インスリン自己注射導入など治療方法が大きく変わる時は患者さんが糖尿病が悪化したことを強く感じる時であり、そのストレスに対し、患者さんには否認や怒り、悲しみなど複雑な心理変化を生じます。これに気づかなければインスリンの開始に難渋するでしょうし、またインスリンを打つことにより非常にストレスがかかり QOL が低下するようであれば打ち続けることは困難でしょう。

このセミナーの演者は 20 年以上も糖尿病治療に携わり、インスリン自己注射の隘路に熟達した臨床家ばかりです。教科書に書かれていないことを教わり、あなたもエキスパートへの道を歩みましょう。

西東京糖尿病心理と医療研究会 代表世話人 朝比奈 崇介
NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 理事長 貴田岡 正史

第 18 回 西東京糖尿病心理と医療研究会 参加申込書

【 お申込み先 】

FAX 番号. 042-362-1602

【 お問合せ先 】

TEL 番号. 042-362-1601

申込み締切り: 2015年6月19日(金)

担当 : ノボ ノルディスク ファーマ(株) 鈴木

御施設名

施設ご住所

御所属

御氏名

連絡先 TEL 番号 又は E-Mail

* 会場の都合上、定員になり次第締切とさせていただきます

* 個人情報保護法に基づき、ご施設名・氏名などの個人情報は、本会の運営のみに使用させていただきます

会場 : 新宿NSビル 周辺地図



新宿駅「南口・西口」より徒歩7分